

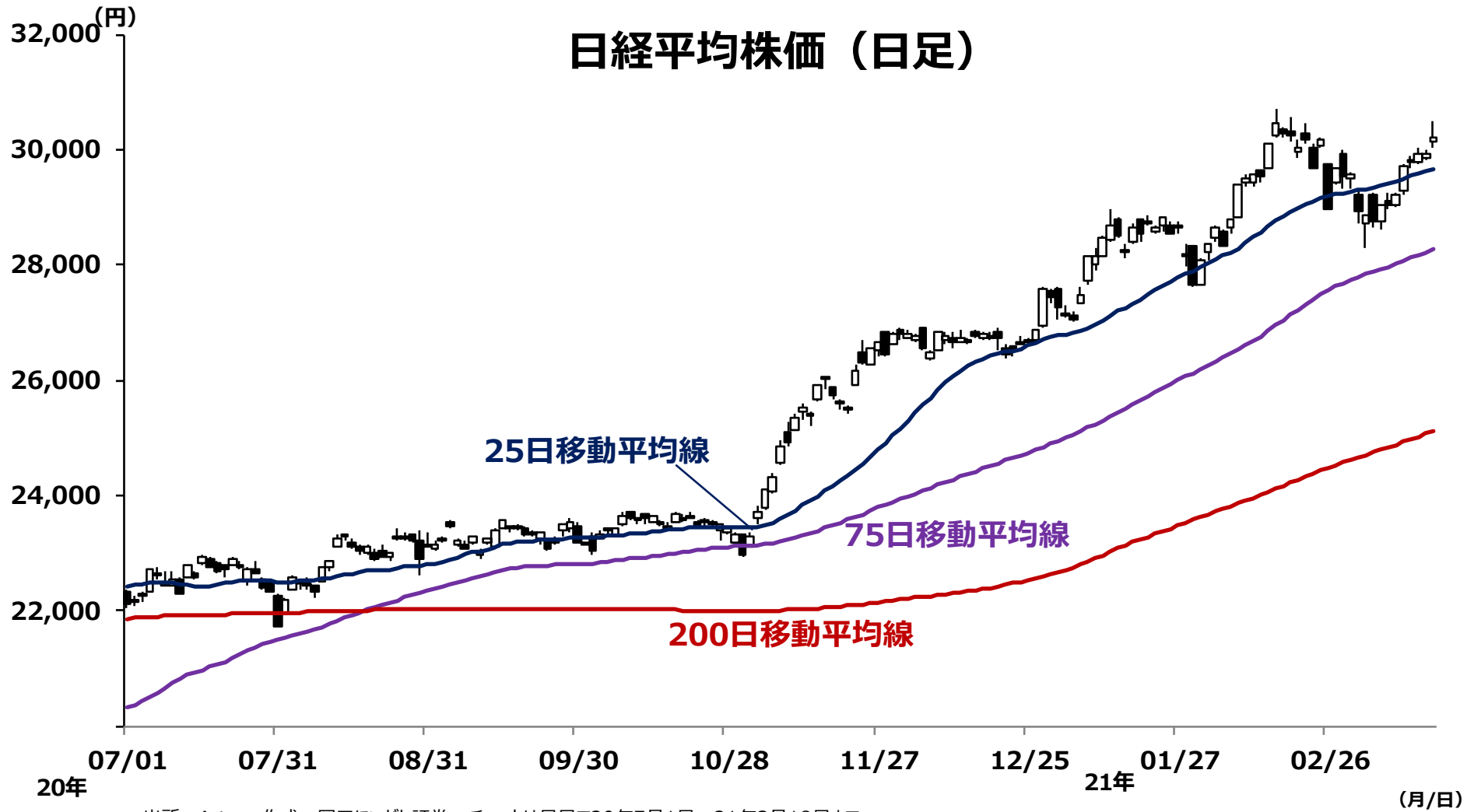
実践で使えるチャート分析③



～ローソク足の見方～

2021年3月22日
エクイティ情報部

ローソク足チャート



テクニカル分析の種類

大きく分けて4種類

テクニカル分析

①トレンド分析

値動きの方向や強さを分析

- ・移動平均線分析
- ・トレンドライン分析

②オシレーター分析

買われすぎ、売られすぎを判断する

- ・RSI
- ・ストキャスティクス
- ・サイコロジカルライン

③フォーメーション分析

過去のチャートパターンに当てはめ分析する

- ・ヘッド&ショルダーズ
- ・ダブルフォーメーション
- ・トライアングル

④サイクル分析

時間循環を分析する

人間の生活にもサイクルが見られるが経済活動や株式相場にもサイクルがありそれを分析し将来を予測

その他の分析

- ・エリオットの波動論
- ・一目均衡表
- ・ダウ理論

・ローソク足

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

テクニカル分析（罫線：ローソク足）の歴史

1730年（享保15年）～ （江戸時代）

テクニカル分析（当初は罫線分析）が最初に誕生したのは、コメ相場（大阪堂島：1730年～）といわれている。

1878年（明治11年）～ （明治時代）

明治に入り日本でも株式取引所が設立され、株式でも罫線（けいせん）が利用され大きく前進した。30年代に入り、日本の出版社がローソク足（陰陽線）を開発したとの説があり、これを機にテクニカル分析（罫線分析）が一般的に浸透するようになったとされる。

戦後～ （昭和、平成、令和時代）

戦後のテクニカル分析は、証券市場全般に活躍の場を広げ、為替や先物市場などでも活用されることとなった。

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

酒田五法と本間宗久

酒田五法は、江戸時代に米相場で活躍した本間宗久によって考案されたテクニカル分析で、本間宗久が現在の山形県酒田市の大地主だったことから、その名がついている。

酒田五法

「三山」「三川」「三空」「三兵」「三法」

(さんざん) (さんせん) (さんくう) (さんぺい) (さんぽう)

「ローソク足」の特徴

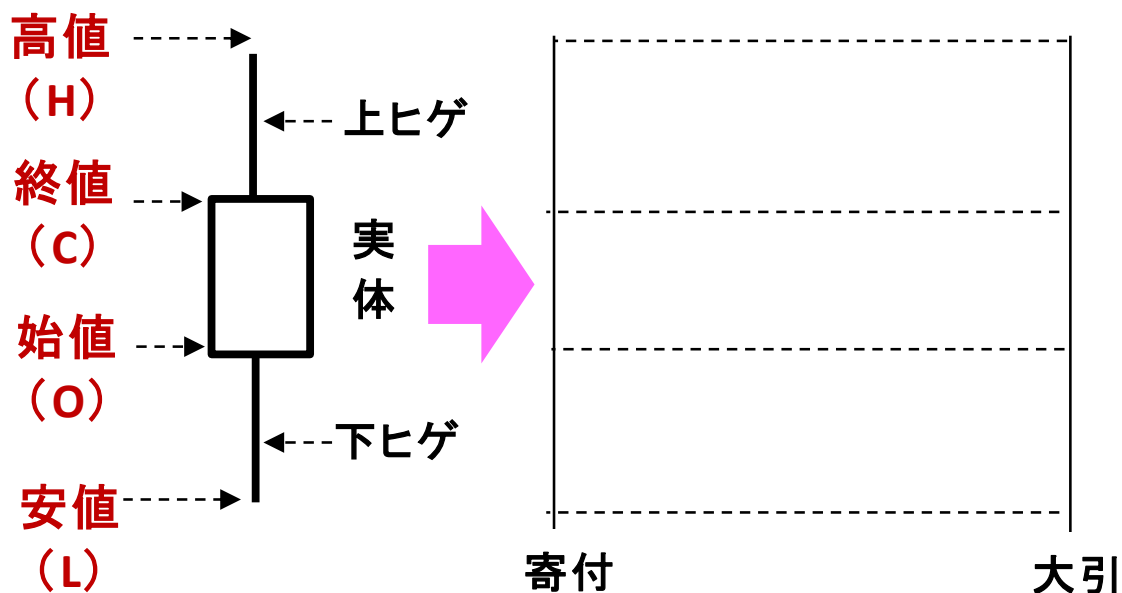
◎ 1日(1週間、1カ月間等)の値動きが**視覚的**にわかりやすい

◎ シンプルな形の中に**多くの情報**が詰まっている

「ローソク足」とは

◎ 寄り付き(始値)・高値・安値・引け値(終値)からなる4本値を実体と影に分けて引き、1本の足にして値動きを表し、相場の強弱や方向性を推し量ることに優れた表記法。

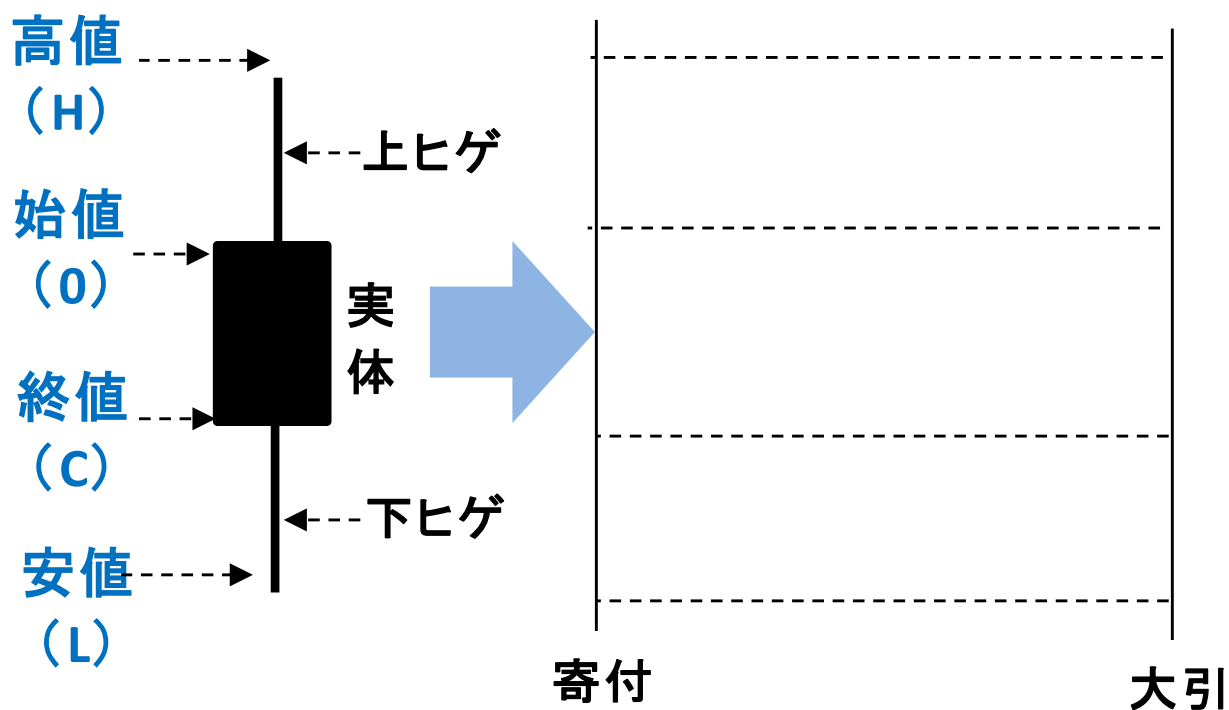
陽線(ようせん)



各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」とは

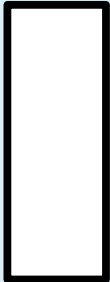
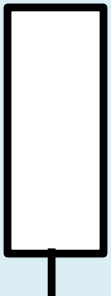
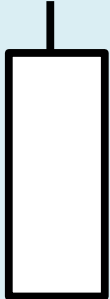
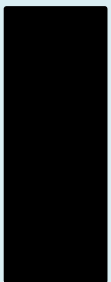

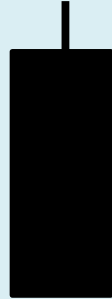
陰線(いんせん)



各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」9つの基本形（大陽線・大陰線）

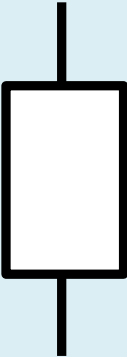

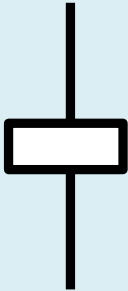

※単線分析

						
呼び名	大陽線			大陰線		
俗称	陽の丸坊主	陽の大引坊主	陽の寄り付き坊主	陰の丸坊主	陰の大引坊主	陰の寄り付き坊主
特徴	非常に強い	先高観強い	先高観強い	非常に弱い	先安観強い	先安観強い

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」9つの基本形 (小陽線・小陰線)


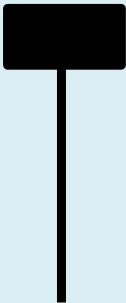

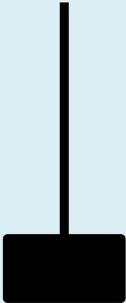
※単線分析

				
呼び名	小陽線	小陰線	小陽線	小陰線
俗称			極線(コマ)	極線(コマ)
特徴	強もちあい	弱もちあい	気迷い	気迷い

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」9つの基本形 (下影陽線、下影陰線・上影陽線、上影陰線)

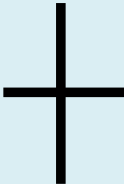


※単線分析

				
呼び名	下影陽線	下影陰線	上影陽線	上影陰線
俗称	タクリ線	タクリ線	トンカチ	トンカチ
特徴	下位に出現で上昇転換、上位に出現で天井暗示	下位に出現で上昇転換、上位に出現で天井暗示	騰勢の衰えを示唆、但し下位に出現で反転暗示	上位に出現で反落示唆、但し下位出現時は慎重に

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」9つの基本形（寄り引け同事線1）

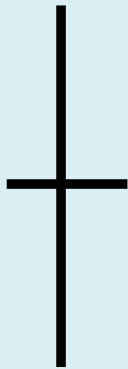

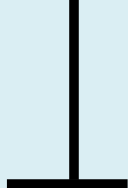

※単線分析

			
呼び名	寄り引け同事線		
俗称	十字	上十字	下十字
特徴	気迷い	上位に出現で騰勢の衰え	下位に出現で売り勢力の衰え

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

「ローソク足」9つの基本形（寄り引け同事線2）

※単線分析

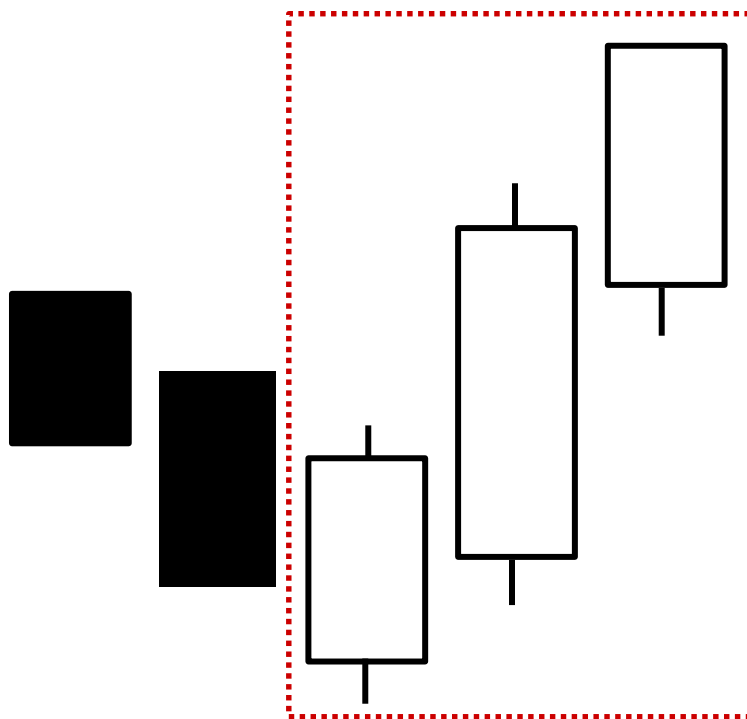
				
呼び名	寄り引け同事線			
俗称	寄せ線	四値同事	トウバ	トンボ
特徴	転換暗示	前後によって転換暗示	小休止、上位に出現で転換暗示	上位、下位に出現で転換暗示

各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

先高期待を示す足型（赤三兵）

※複数線分析

赤三兵…安値圏での出現は**先高期待(買いシグナル)**

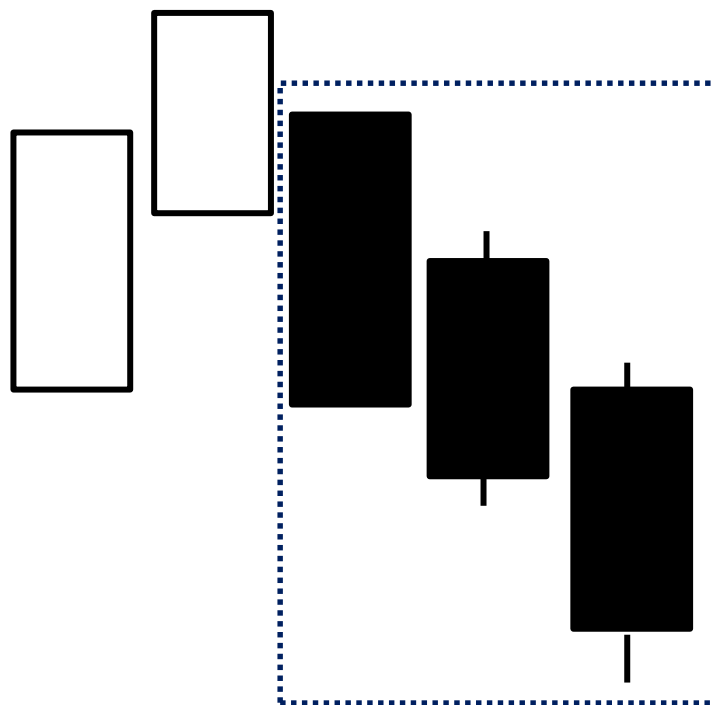


**陽線が
右肩上がりで
3本並ぶ**

天井打ちを暗示する足型（黒三兵）

※複数線分析

黒三兵…高値圏での出現は**売りシグナル**



陰線が
右肩下がり
3本並ぶ

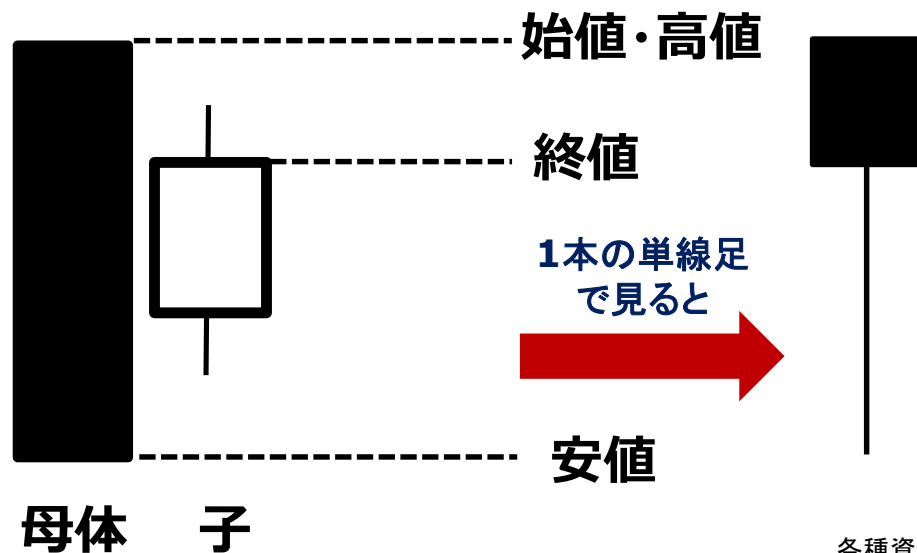
相場転換を暗示する足型（はらみ線1）

※複数線分析

安値圏で、陰の陽(陰)はらみは**買いシグナル**

陰のはらみ線

大陰線



各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

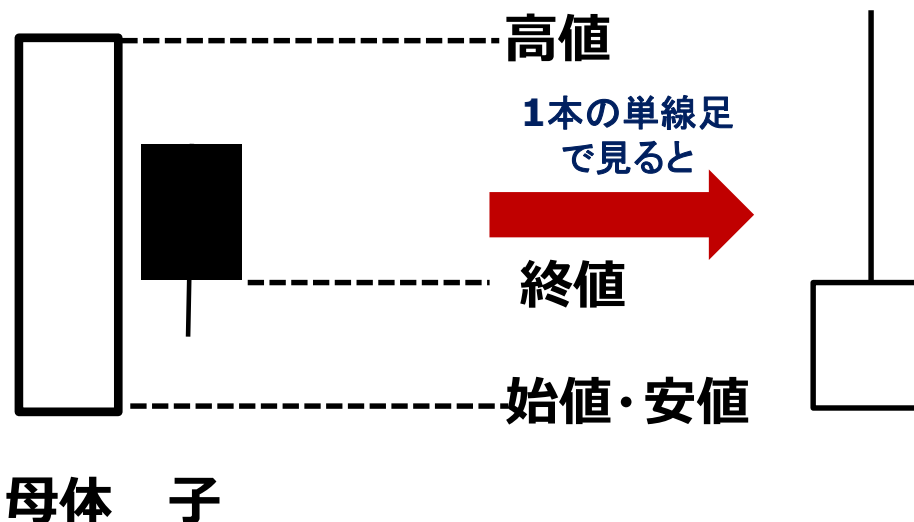
相場転換を暗示する足型（はらみ線2）

※複数線分析

高値圏で、陽の陰(陽)はらみは**売りシグナル**

陽のはらみ線

大陽線

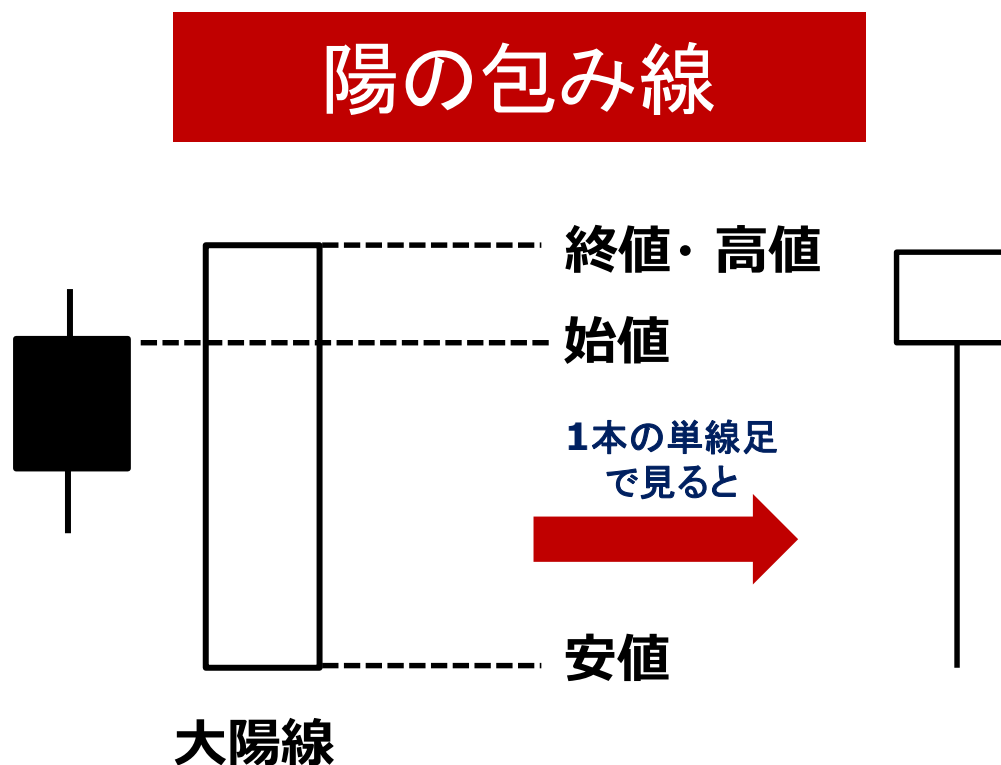


各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

相場転換を暗示する足型（包み線1）

※複数線分析

安値圏で、陽の包み線は**買いシグナル**

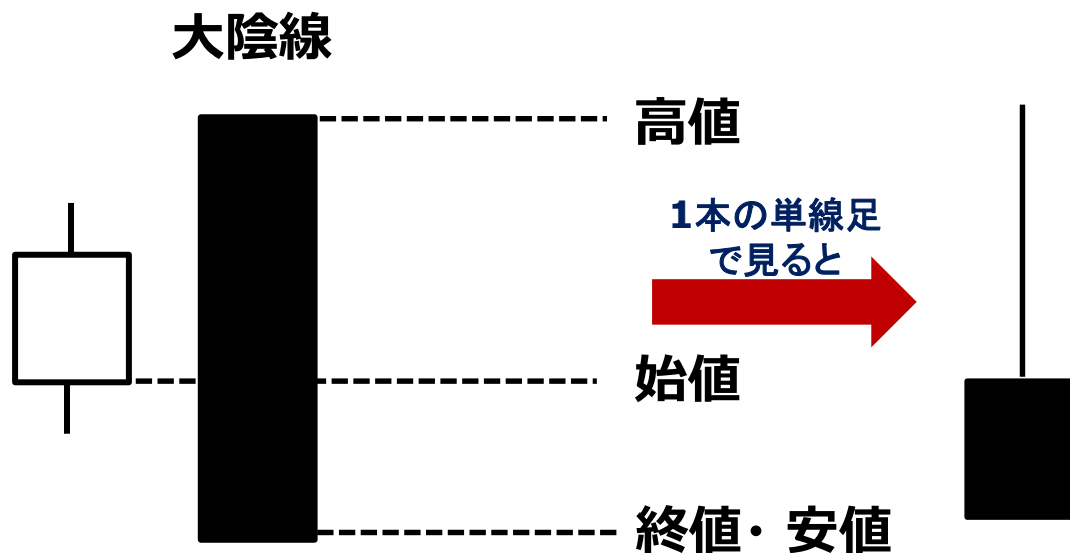


相場転換を暗示する足型（包み線2）

※複数線分析

高値圏で、陰の包み線は**売りシグナル**

陰の包み線



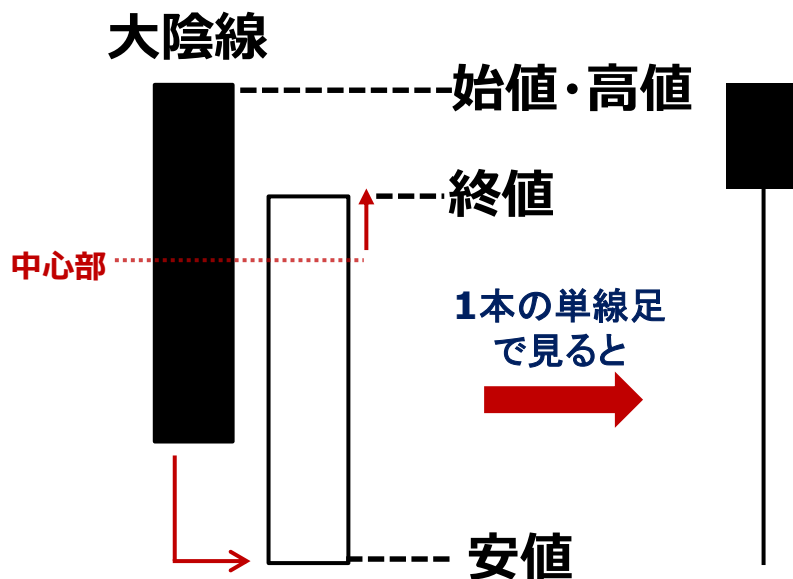
各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

相場転換を暗示する足型（切り込み線）

※複数線分析

安値圏で出現すると**買いシグナル**

切り込み線



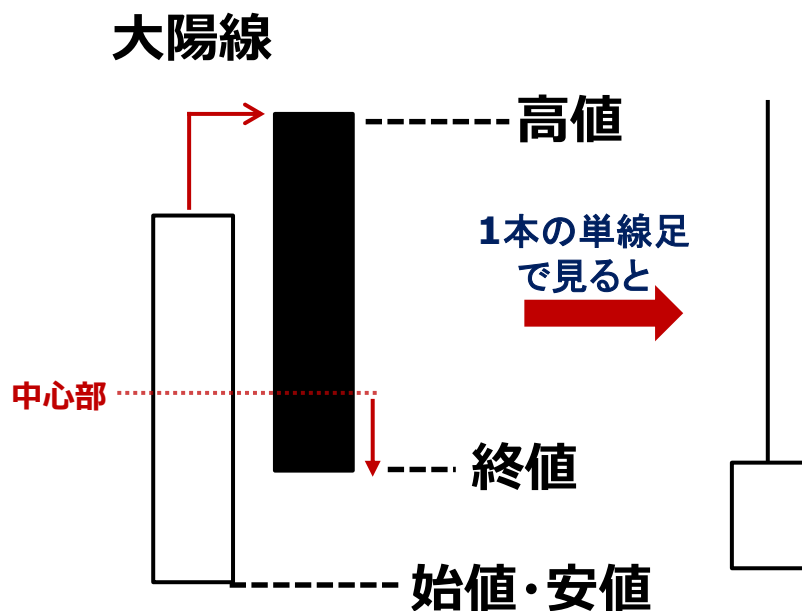
各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

相場転換を暗示する足型（かぶせ線）

※複数線分析

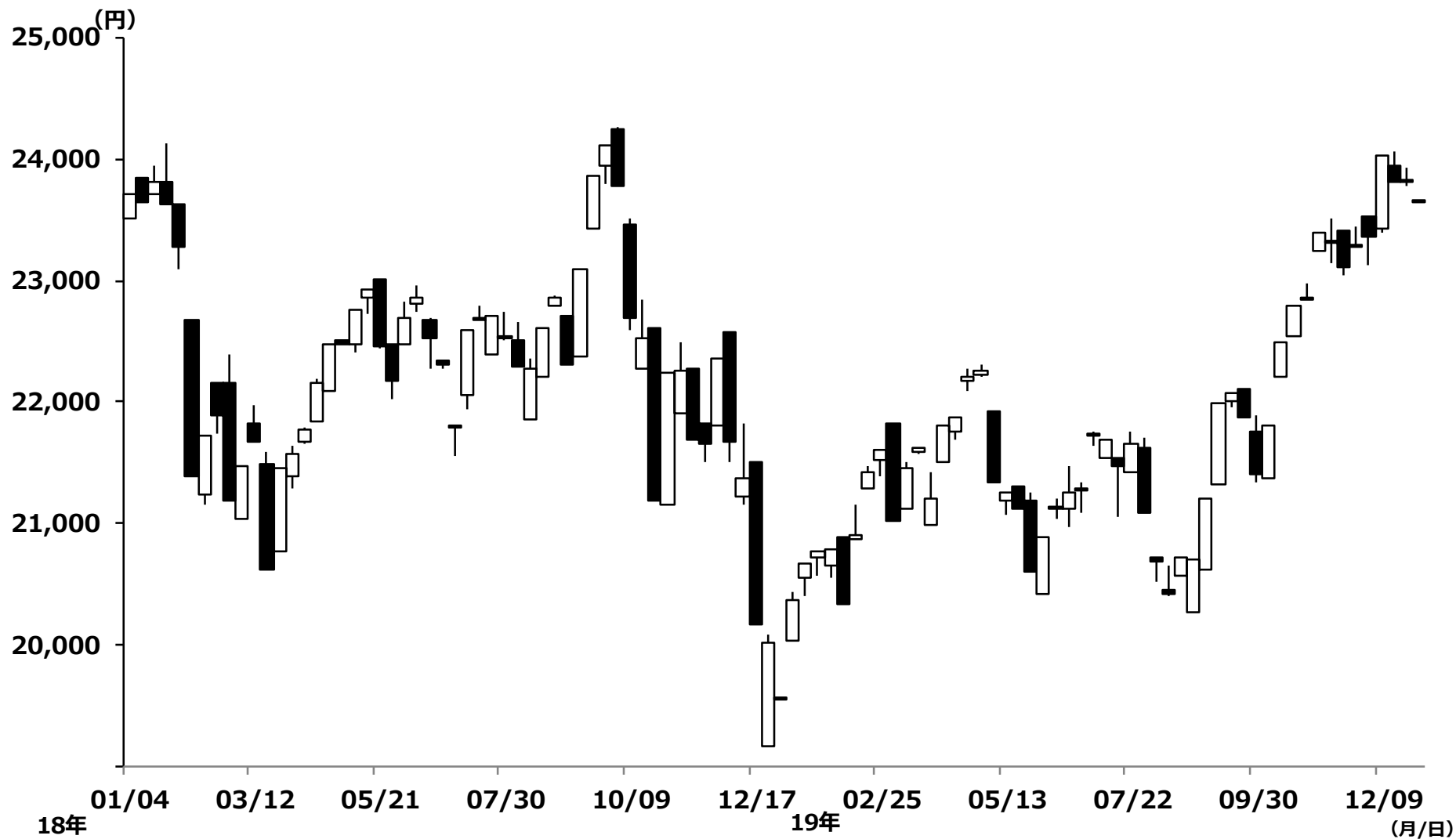
高値圏で出現すると売りシグナル

かぶせ線



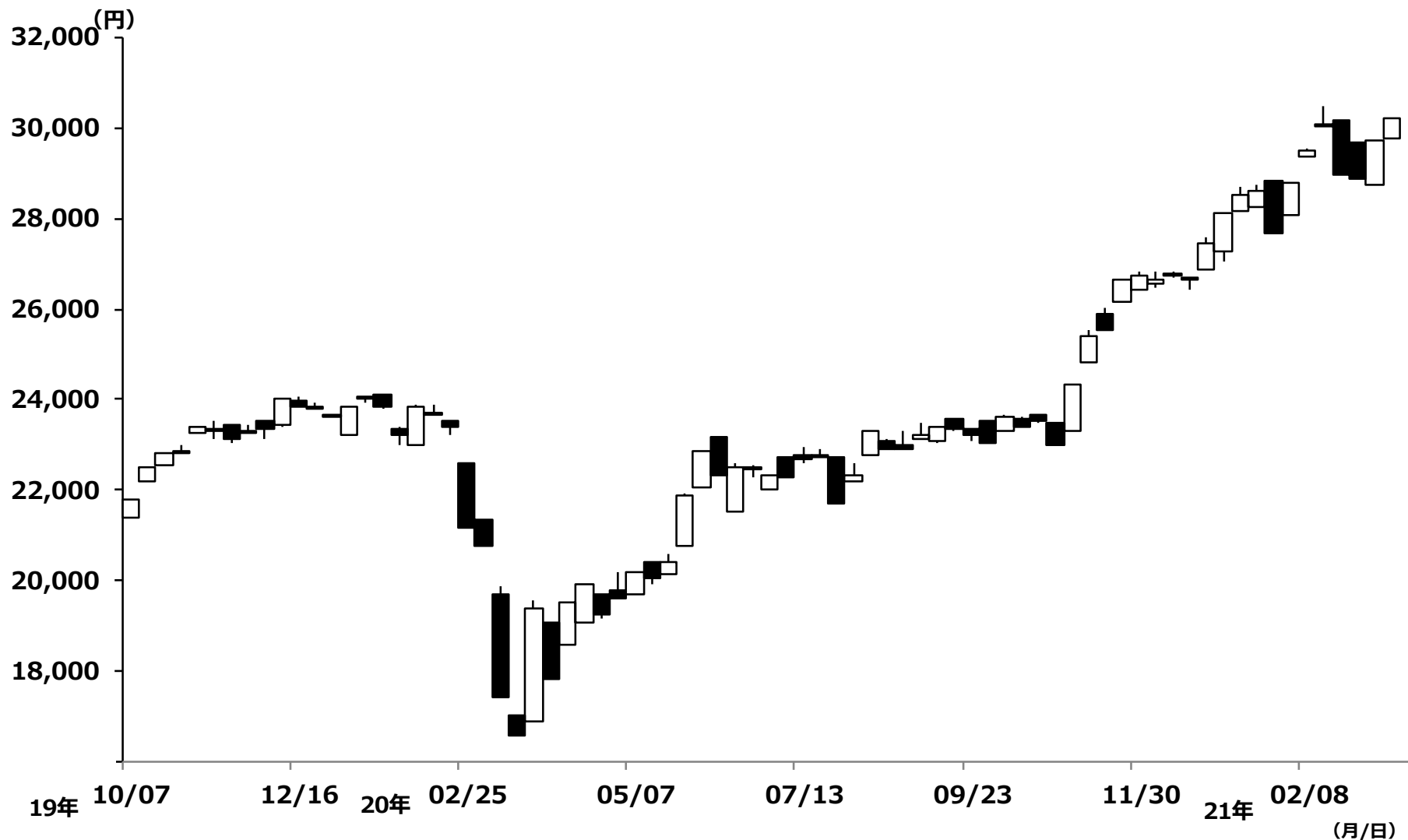
各種資料をもとに岡三にいがた証券作成

日経平均株価（週足18年1月～19年12月）

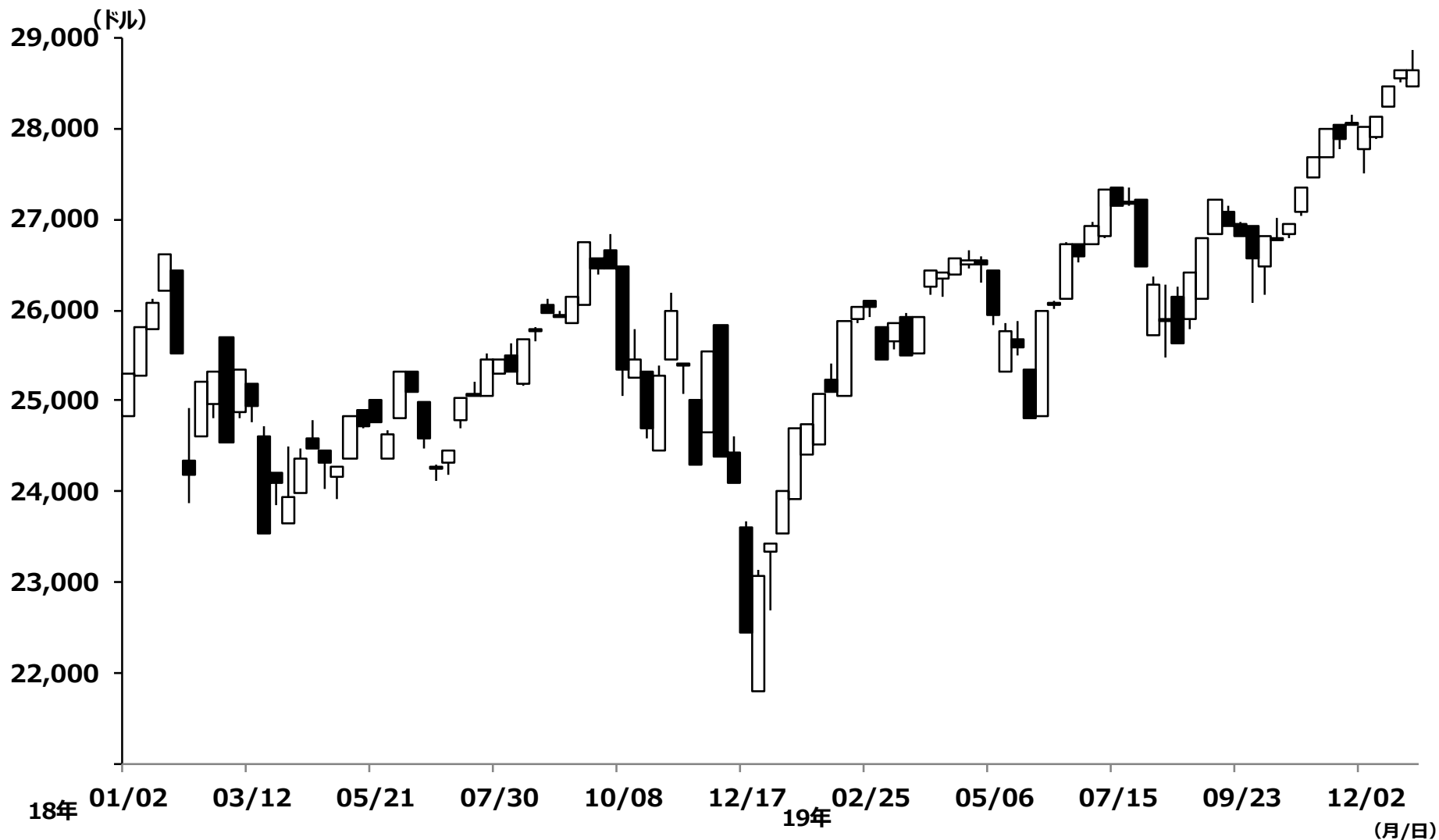


出所：Astra 作成：岡三にいがた証券 チャートは週足で18年1月から19年12月まで

日経平均株価（週足19年10月～21年3月）

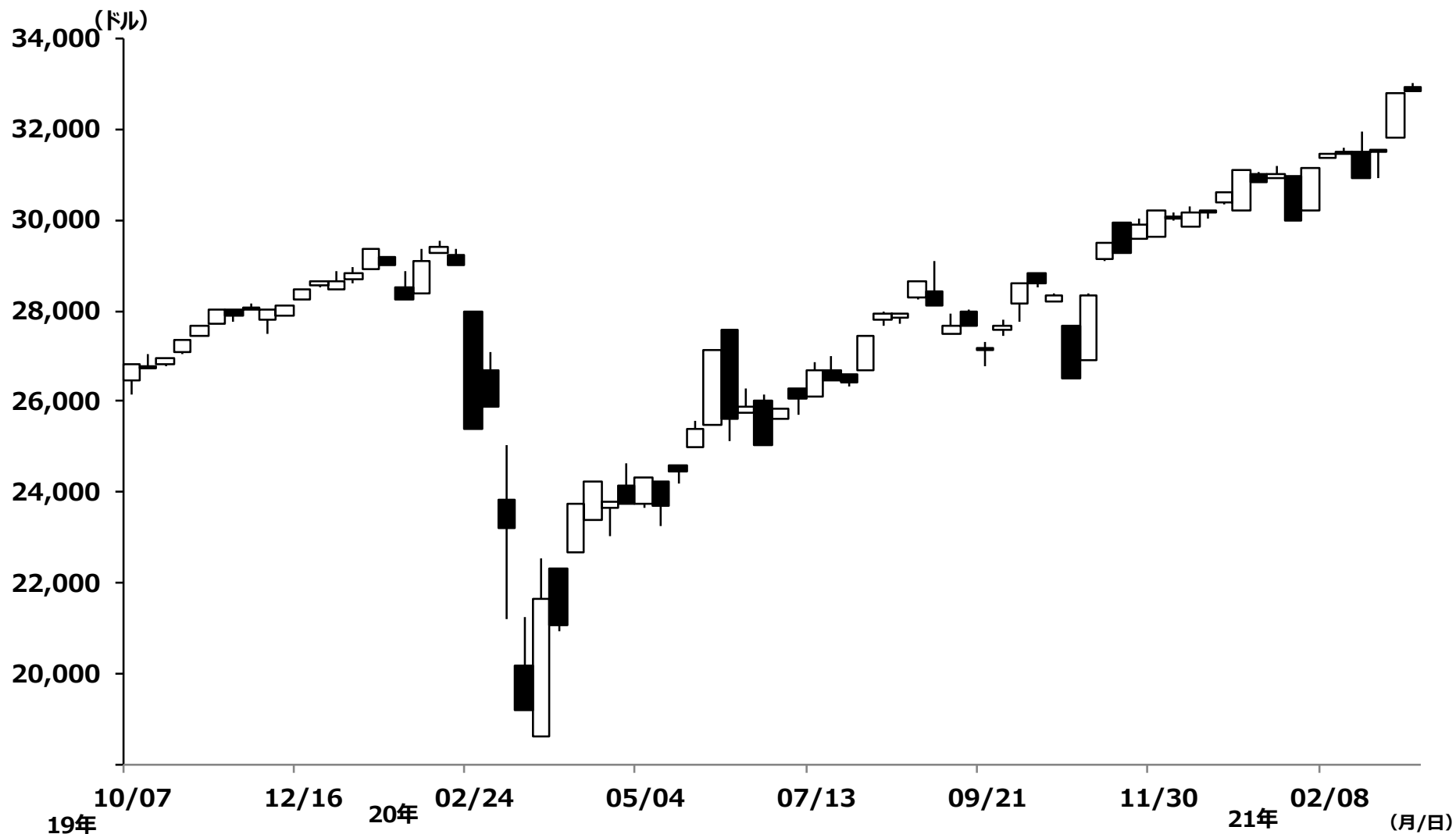


NYダウ (週足18年1月~19年12月)



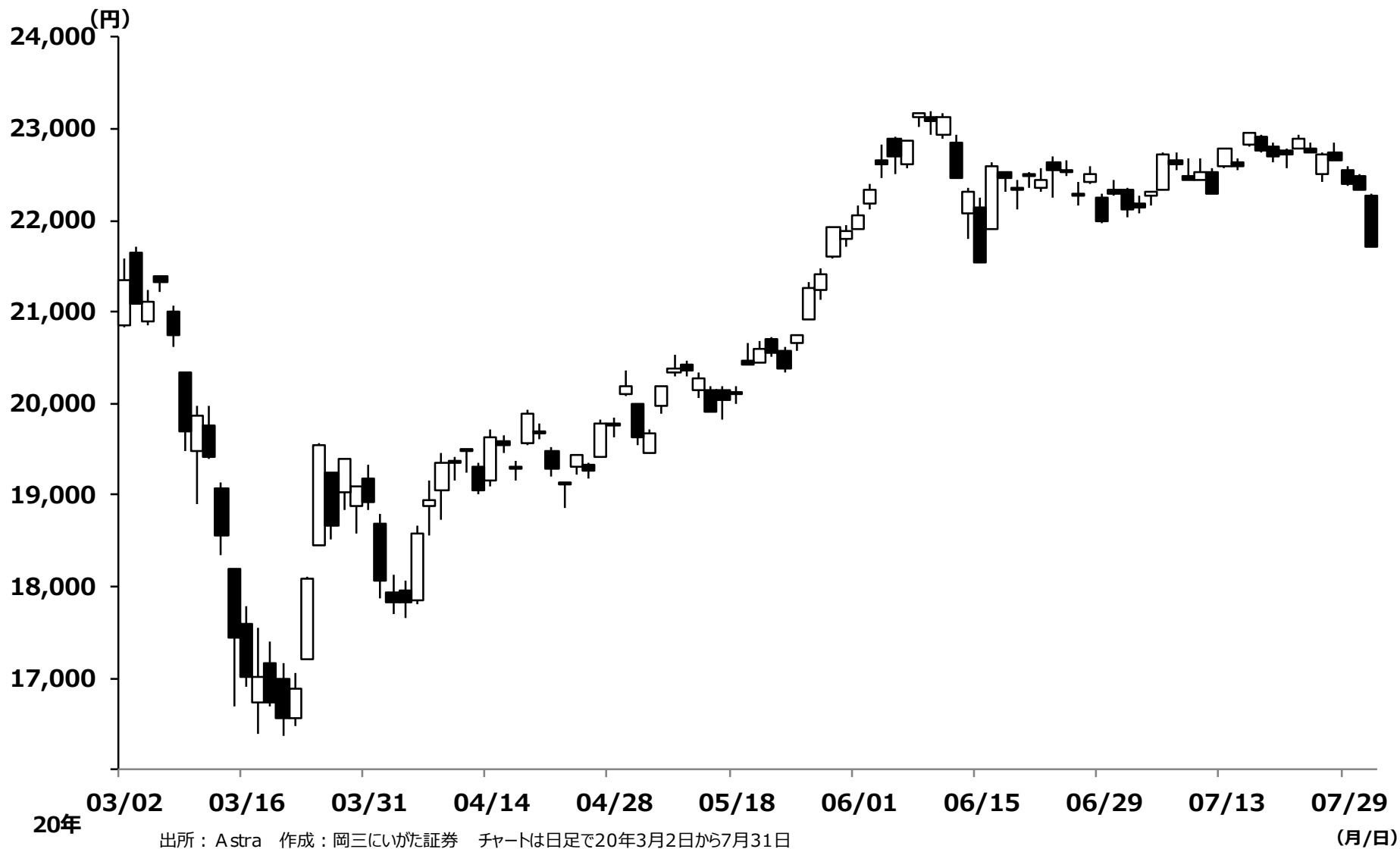
出所：Astra 作成：岡三にいがた証券 チャートは週足で18年1月から19年12月まで

NYダウ (週足19年10月~21年3月)

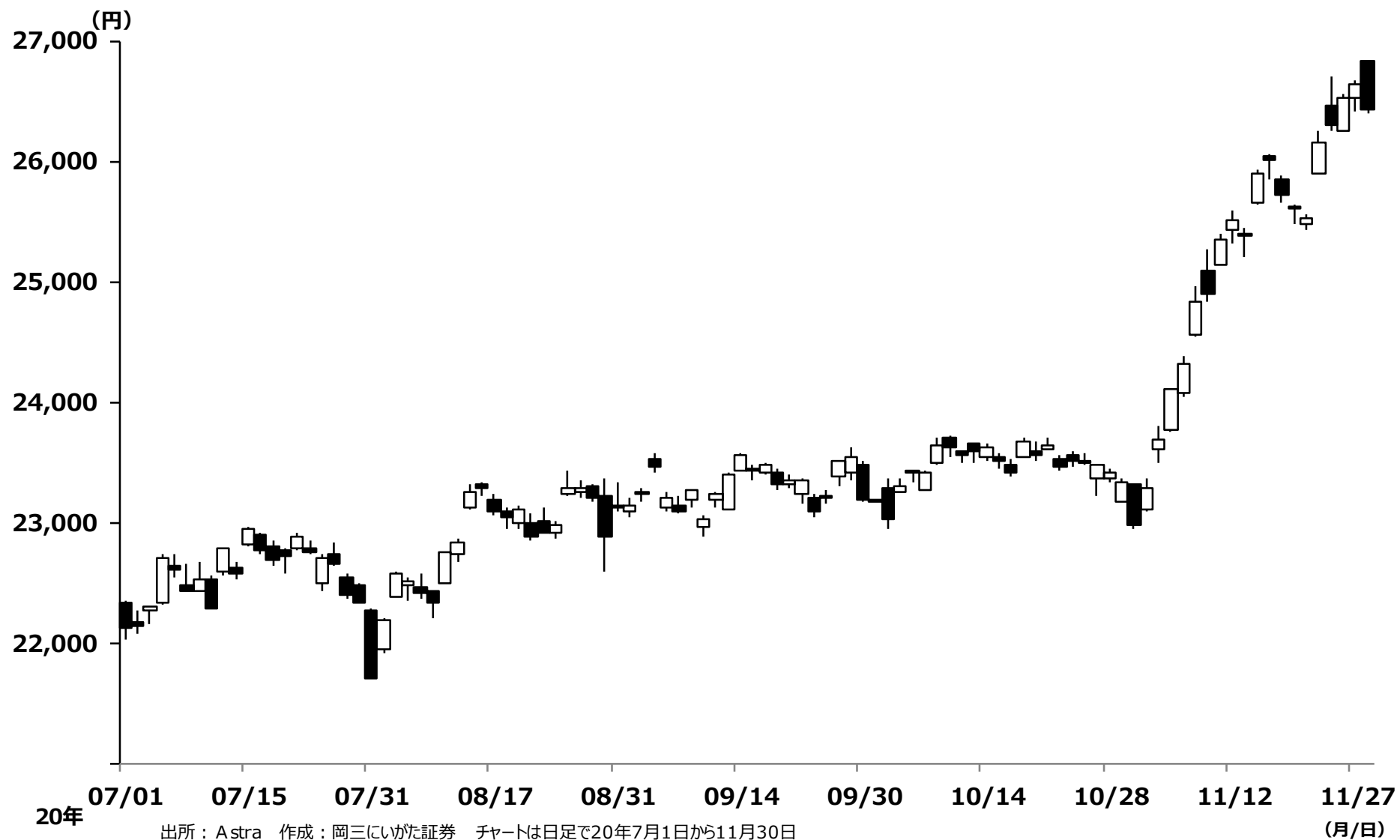


出所：Astra 作成：岡三にいがた証券 チャートは週足で19年10月から21年3月18日まで

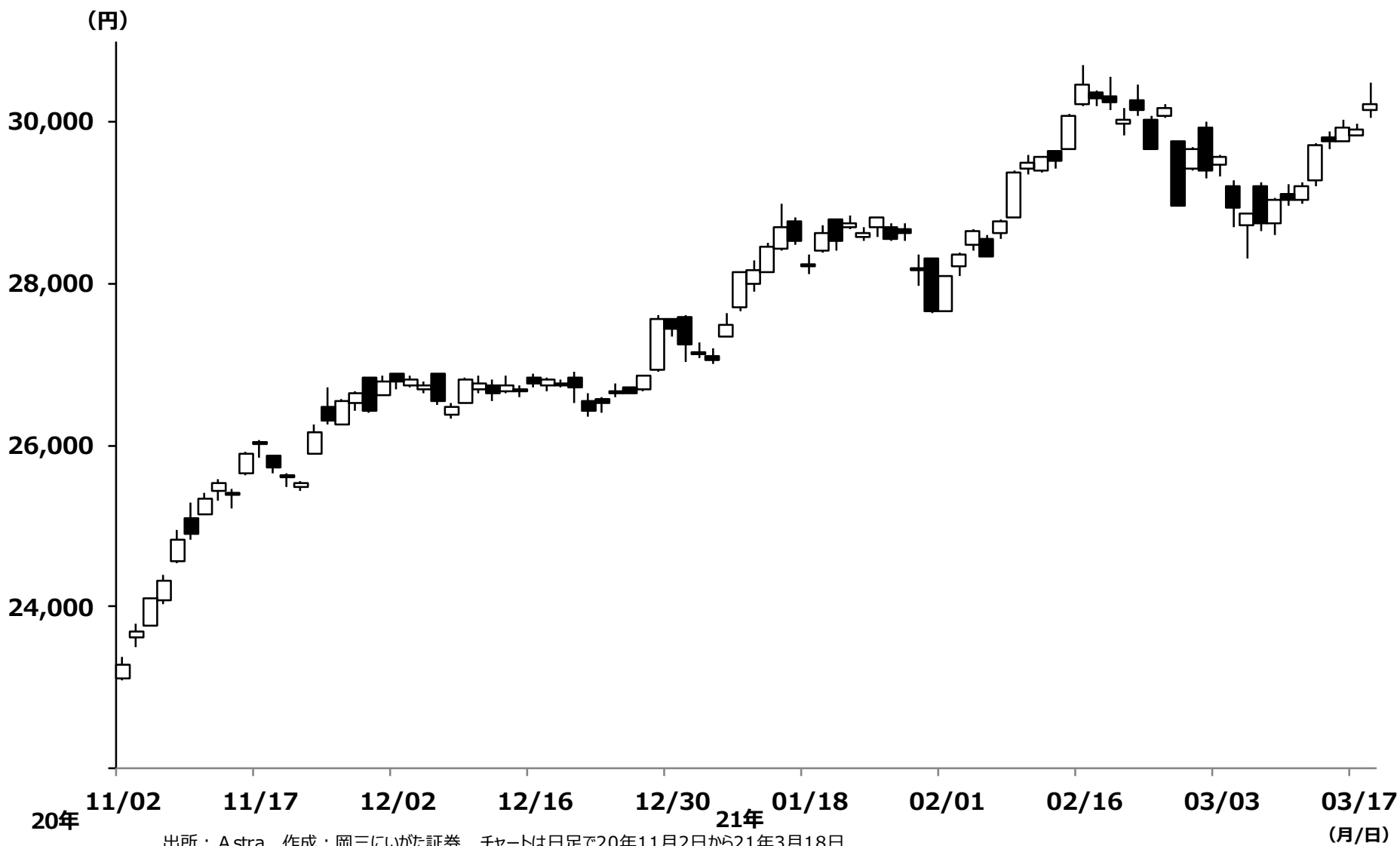
日経平均株価（日足20年3月～7月）



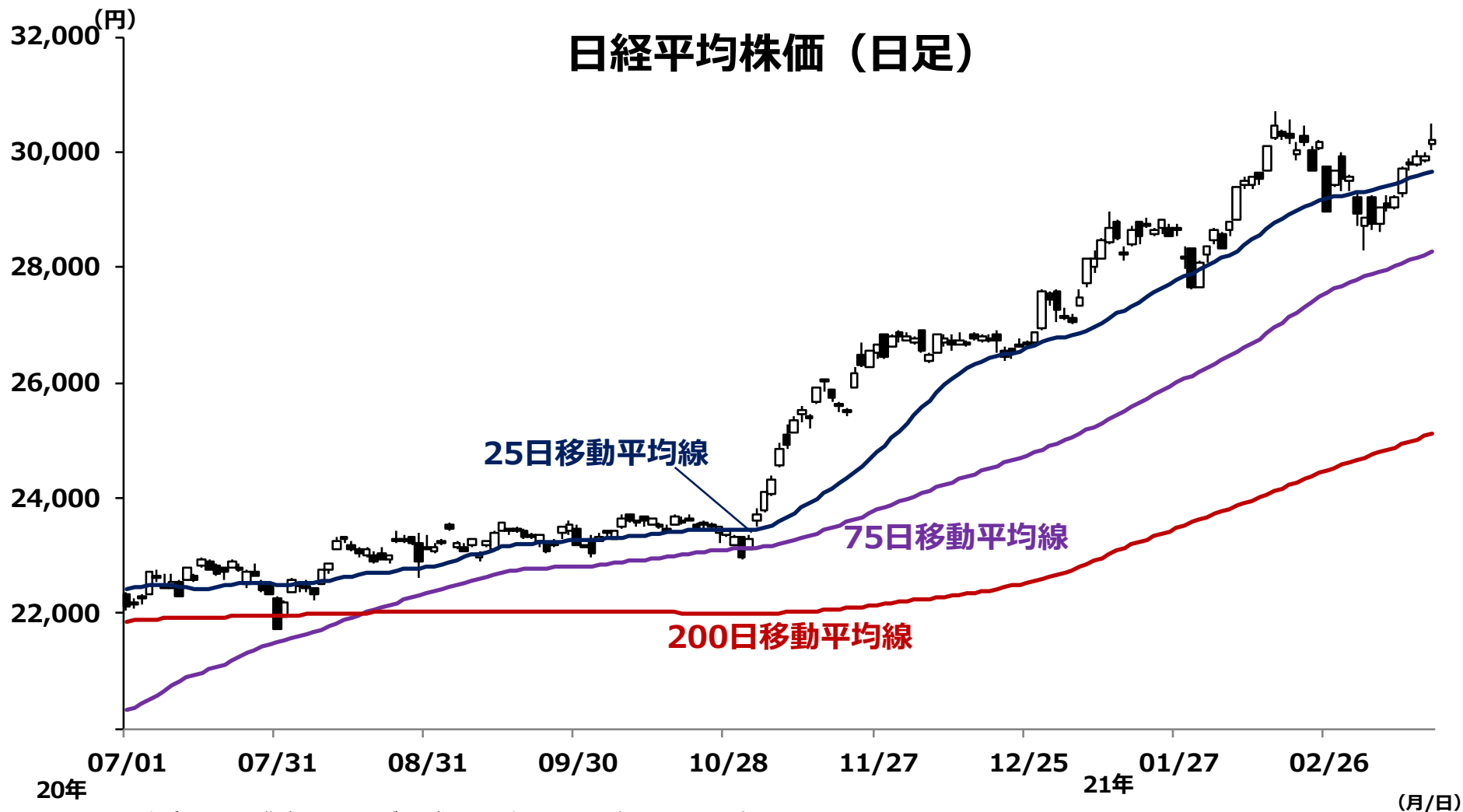
日経平均株価（日足20年7月～11月）



日経平均株価（日足20年11月～21年3月）



日経平均株価（日足20年7月～21年3月）



最後に

- 1、陽線・陰線の多さで地合いを確認
- 2、**大陽線**・**大陰線**で先高(安)観の確認
- 3、**三本連続線**に注目
- 4、**安値圏**での**大陽線**、**下影線**に注目
- 5、**高値圏**での**大陰線**、**上影線**に注目
- 6、相場の位置取りで見方も変わる

手数料およびリスクについての重要な注意事項

<有価証券や金銭のお預りについて>

有価証券や金銭を当社の口座でお預りする場合には、当社では料金を頂戴いたしません。なお、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じ、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株 式>

・株式の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%(税込み)の売買手数料をいただきます。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

<債 券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。

・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.1%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))

保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.145%(税込み))

換金時に直接ご負担いただく費用:換金手数料(お申込金額に対して1口当り最大1.1%(税込み))また、信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)

その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。

・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。

・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。

・上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。当該金融商品の取引契約をされる場合、その金融商品の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

この資料は岡三にいがた証券が信頼できると判断した情報に基づいて作成されたものですがその情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中の記載内容、数値、図表等は、本資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本資料に記載されたいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

岡三にいがた証券およびその関係会社、役員が、この資料に記載されている証券もしくは金融商品について自己売買または委託売買取引を行う場合があります。

自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。

岡三にいがた証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第169号

加入協会:日本証券業協会

(2019年10月改訂)